

# 食の安全を自分で確かめる

消費生活センターでは、私たちの食品の放射性物質を検査しています

持ち込み検査を申し込みましょう



福島第一原発事故から3年がたちました。

除染がすすんだ今も、東葛地域には、スポット的に放射線量が高い場所があります。

放射性物質は、簡単に消えるものではありません。国は、食品や飲料水について基準値を決め、市場には基準値を超えるものは出ていない、としています。

しかしすでに基準値以上の食品が市場に出たケースが明らかになっています。

自分が食べているものが安全かどうか、どうやって調べればいいのでしょうか。

## 柏市の食品検査体制

- ・農産物：市内でとれた野菜は農政課が検査しています。
- ・給食：市内小中学校、保育園、幼稚園、キッズルームなどは、学校保健課など担当のところで検査しています。
- ・流通品：市場流通品は、柏市保健所が検査しています。

でも全品検査はできません。自分や家族が食べるものの安全を確かめたい。そのための方法として柏市は「市民持ち込み食品」の測定を受け付けています。

**毎日の食材を確かめるには消費生活センターで**

## 検査の申し込みは

- ・受付：柏市消費生活センター 04-7163-5922 (食品測定専用受付番号) 電話で予約する。  
柏市柏下73 中央体育館管理棟1階 へ持参。(健康保険証、運転免許証など確認できるものが必要)
- ・持ち込むには・・・市場流通食品は、買った状態のまま。自家産品は細かく刻む。(フードプロセッサ一は不可。まな板、包丁は消毒する) 買ったものはレシートを持参。食品は600g以上。飲料水は550ml以上。
  - ・検査は無料です。
  - ・見学もできます。
- ・検査日：持ち込み当日です。その日に結果とともに検査した食品を引き取ります。

食の安全と環境を考える会

問い合わせ：福田 7133-3003

Mail: syokutokankyou@yahoo.co.jp

HP: <http://syokutokankyou.web.fc2.com/>

# 確かめることで安心・安全を

実際に、基準値を超えている食品が見つかったケースはあります。

(例)農水省発表の検査結果 (2013年10月31日)

キノコ山菜類では5499件中基準超が183件見つかっています。一例として

福島県産乾シイタケ 150Bq/kg (測定:福島県衛生研究所)

群馬県産天然ナメコ 590Bq/kg (国立医薬品食品衛生研究所 13.10.24)

→すでに販売されており、自主回収中です。(群馬県HP)

千葉県では以下の食品が、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限となっています。

(2014年3月19日現在)

原木シイタケ(路地): 千葉市、佐倉市、流山市、八千代市、我孫子市、君津市、富津市、印西市、白井市、山武市

原木シイタケ(施設): 山武市、富津市、君津市

タケノコ: 柏市、我孫子市、白井市、栄町

ギンブナ・コイ: 手賀沼、手賀沼流域

ウナギ: 利根川流域の一部



## ★松戸市のゆず

2012年11月に110Bq/kgを検出し、基準値を超えたため、千葉県から出荷自粛となっていました。13年11月に基準を下回ったとして自粛解除となりました。しかしその後の検査でも52Bq/kgという高い測定結果が出ています。

## ★輸入品からも見つかっています。

ブルガリア産ブルーベリーから164Bq/kg、イタリア産ポルティニーニから220Bq/kgが市場で見つかり、ブルーベリーは5000個回収指示されています。(週刊朝日2013年10/25、11/1号)

輸入品は1986年のチェルノブイリ事故によるものと考えられます。少ない検疫所での抜き取り検査ではザルと言われても仕方なく、すでに食卓に上がっているということです。

## 当会が測った食品では

2011年の福島第一原発事故以来、私たちの会は、柏市や民間測定所を利用して測定を続けています。その数は、現在まで96件になります。そのうち、「検出」とされた数は51件です。例えば、

柏市産路地シイタケ 358ベクレル(2012年) 白井市産ゆでタケノコ 102ベクレル(2012年)、

松戸市産スタチ 81ベクレル(2012年) 松戸市産ユズ 30ベクレル(2013年)

白井市産ゆでタケノコ 11ベクレル(2013年) 柏市産レモンバーム 22ベクレル(2013年)

柏市産夏みかん 22ベクレル(2013年) など。(これらが流通品ということではありません)

もちろん、市場に出ている食品すべてに不安があるわけではありませんが、調べてみないとわからない。その疑問に応える検査体制がしっかりあることが大切です。柏市も、保健所生活衛生課で定期的に測っていますが、充分ではありません。

**市民が、毎日の食卓に上がる食材を持ち込んで測る体制は、自分の目で、安心、安全を確かめることができるので、大変重要です。**